

# NPO法人エイブル・アート・ジャパン（所在地：宮城県仙台市）

## 事業名

ともに学びともに育つ！せんだい・まなびやネットワーク構築モデル事業

## 主な連携先

仙台市生涯学習課/特別支援教育課/障害企画課、大学教員、地域の企業や社会教育施設、NPO団体など

## 主な対象

身体障害、知的障害、発達障害、精神障害のある人をはじめ、対面の場が苦手な人など

## 事業の趣旨・目的

- (1) 100万人都市・仙台における支援モデルの構築
- (2) 地域の多様なセクターの連携と機運醸成
- (3) 障害者本人主体の学び方の手法や評価の検証
- (4) 障害者の生涯学習を支える人材の育成
- (5) 成果の普及と共生社会コンファレンスを通じた関係者の機運醸成

## 事業実施体制

【連携協議会】仙台市生涯学習課/特別支援教育課/障害企画課/生涯学習支援センター、大学教員、地域の企業や社会教育施設、NPOの中間支援組織と団体、計10名 【コーディネーター】大学教員、特別支援教育士  
【運営】本事業推進担当者、ボランティア、障害のある本人

## 学習プログラムの内容

### スウプノアカデミア2022

障害のある人の『まなび』の場を考えるプロジェクト。

- ◆本人参加型検討会(全2回)：障害のある本人たちと一緒に「やりたい」「学びたい」ことについて話し合い、実践プログラムを決めた。
- ◆実践プログラム(全5回)：本人たちと事業推進者が準備・運営した学習プログラム。【実施したテーマ】「あなたの、わたしの、イライラとの付き合い方」「働き方はいろいろ～先輩に経験談を聞きたい人、大集合！」「すまいりい！笑顔は共通言語！？～笑いとコミュニケーションのアレコレ」「電子レンジで簡単クッキング♪みんなで楽しく料理にトライ！」「てつかくカフェで考えてみよう！「自分らしさ」って？「普通」ってなに？」
- ◆出前教室(1回)：仙台市立鶴谷特別支援学校で身体表現のプログラムを実施。

## 今年度の取組状況

- ①スウプノアカデミア2022(参加者延べ132人、内障害者のある人57人)
- ②オンライン読書会：ボランティアや障害のある人の家族、社会教育施設の職員などとともに1冊の本を輪読し、「まなびのあり方」を考えあうオンラインサロン(全12回、参加者延べ74人)
- ③スウプノフィールドワーク：地域にある障害のある人の生涯学習の場所を、多様な関心層と一緒に参加する見学会(全4回、参加者延べ15人)
- ④共に学び、生きる共生社会コンファレンス東北ブロック(令和5年2月12日、せんだいメディアテーク1F・7F、参加者延べ148人)
- ⑤連携協議会(全3回、参加者延べ43人)

## その他研究の詳細など



①スウプノアカデミア



①④スウプノアカデミアを紹介する展示



④共生社会コンファレンスで発言する参加者



スウプノアカデミア2022▶



令和4(2022)年度の共生社会コンファレンス東北の映像▶

